

みみちゃん通信 NO.6 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

長い夏休みを終えて、ひとまわり大きくなった子ども達が元気に登園してきました。今年の夏も暑い日が続きましたが、みみちゃんクラブの皆さんはいかがお過ごしでしたか？気がつけば朝夕は過ごしやすくなり、虫の鳴き声も聞こえてきました。

2学期は夏から秋、そして冬へと季節の移り変わりを感じながら様々な活動が楽しめる時期です。みみちゃんクラブでもお母さんとお子さんが主体的にできる遊びをどんどん提供していきますので、積極的にご参加ください。お馴染みの顔ぶれでお友達が増えたり、私たち職員とも気軽にお声をかけていただけたら大変うれしく思います。

今学期もどうぞよろしくお祈いします。



～夏休み中の様子あれこれ～15日間の預かり保育に、のべ560名の子ども達が参加をし、夏ならではの活動を存分に楽しみました。保護者会主催の親子講座（水泳・造形・クッキング）いつもは子ども達が利用している屋内プールに、お父さんやお母さんも一緒に入っていたいただき、専門のコーチから指導を受けることができました。

造形教室の今年のテーマは、来年の干支にちなんで“とり”を粘土で創り、9月中旬ごろには焼き上がって手元に届く予定です。恒例の西脇先生のクッキング教室には、午前・午後併せて40組ほどの親子さんが参加され、巻きずしと冷や汁、キラキラゼリーを作っておいしくいただきました。

防災の日を前に・・・9月1日の防災の日にちなんで全国的に防災訓練が行われています。幼稚園ではひと足早く8月24日の夏期保育初日に引き渡し訓練を行いました。大きな地震が起き、机の下にもぐってカメさんスタイルになり、続いて中学校南側のグラウンドに避難する予定でした。しかし、当日はあいにくの雨で、幼稚園2階ホールに集まった園児達を保護者がメールでの連絡を受けて、迎えに来るというものでした。園では隔月に避難訓練をおこなっているので、子ども達は「お・は・し」の約束を守ってすばやく行動に移せるようになってきました。今や他人ごとではない地震や災害、非常事態にどう身を守るかという危機意識を普段からもつことの大切さを感じています。



足に合った靴で元気にあそぼう！

すぐに成長するからと、つい合わない靴をはかせていませんか？靴が足に合っていないと、不自然な足の使い方や歩き方のまま足が育つこととなります。成長の著しいこの時期こそ、適切な靴選びが必要になります。

学研ほけん便り
十二か月より

調整ベルトがついている
足を固定し、足と靴を一体化させる。

吸湿性や通気性がよく、汚れたら洗える素材。

つま先にゆとりがある
理想は5mm。すぐに成長することを考えて5～9mmのゆとりがあるものを。指が自由に動かせるように、つま先が広がって厚みがあることも大切です。

柔らかく、クッション性のある靴底
足の動きにフィットする柔らかさと地面からの衝撃を和らげるクッション性が必要。

★子どもの足は1年間に約1cmも伸びると言われています。半年に一度はサイズの確認をしましょう。